
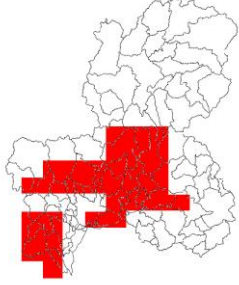


オクタマシダ	<i>Asplenium pseudowilfordii</i> Tagawa	絶滅危惧Ⅱ類	
(環境省:絶滅危惧Ⅱ類)		チャセンシダ科	
選定理由	生育地が少ないうえ、生育環境が崩落しやすい急峻な岩場という不安定な場所であるため、種の存続への圧迫に絶えずさらされている。愛好家による園芸採取も多い。	写真(荻山恒弘) 	
形態の特徴	常緑性のシダ。葉身は広線形から狭五角形、2-3回羽状複生。羽片は両側がほぼ平行し、基部は狭くならず葉質はやや厚い。		
生態的特徴	山林中の岩上や樹幹に着生する。		
分布状況	本州(福島県以西)・四国・九州に分布する。岐阜県では県南西部と県南中部に分布する。		
減少要因	樹木の枯死、岩場の自然崩落などによる生育地の消失。山林開発により湿潤な生育環境が失われる危険性が高い。愛好家による採集圧も考えられる。		
保全対策	生育地や周辺地区の山林開発を控える。生育に関しては適度な空中湿度が大切であることから、周辺地区の乾燥化を特に注意しなければならない。		
特記事項			
参考文献			

文責:村瀬正成